



NPO 金沢杜の里 NEWS

2019.11 No.33



秀香日菊
もりの里3丁目地内



子ども会と地域交流

杜の里子ども会連合会

育成委員長 城岸 整 功

今年度より、杜の里子ども会連合会育成委員長を拝命いたしました。

平成十九年の杜の里小学校の開校以降、鈴見・旭町・若松地区の子どもたちの心身の健全育成、そして、親御さんたち巻き込んだ地域交流に努めてきました。子ども会としては、杜の里小学校の教職員及び育友会の方々、NPO金沢杜の里を含めた地域の方々への支えに感謝申し上げます。

子ども会では、年間活動として、春の子どもちようちん行列、夏のホタル調査及びラジオ体操、秋の杜の里りんびっく、キゴ山での一泊研修、冬の立志の集い及びスキー合宿等々の企画運営をしております。昨年の熊等の出没情報や不審者情報等もあり、街中での子ども会活動においては皆さまの温かい声かけや、眼差しが子どもたちに何よりの安心感につながります。

私は、コミュニティ防災士として活動しています。日々の防災について説明する際「自助・共助・公助」という言葉が必ず出てきます。趣旨は「自らが自らを助け・周りの方々と共同して助け合う・公の機関の助けを仰ぐ」ということです。防災の観点からも、地域の方々子どもたちとの「顔の見える、声を掛け合える地域交流」が大事であると常々感じています。

子どもたちだけでなく、「地域のみんなの笑顔が見たい。」また、子どもたちを通じて、昔から居られる方も、新しく引越してこられた方も分け隔てなく、年代の垣根を取り払って「顔の見える地域交流」を進めていきたいと思えます。

NPO金沢杜の里の「花いっぱい運動」や「ホタル育成活動」、「落葉清掃」等々の地域活動・美化活動に感謝するとともに、これらに参加しながら子ども会での活動を続けていきます。皆様方のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

まちづくり活動

令和元年7月～令和元年10月



第4回花苗の植替え(8/24)



ベンチ塗替え(8/25)



緑地小公園管・除草(毎月)



民有地草刈り(7/6)



杜の里児童館避難訓練(8/29)



ホテルの飼育・観察学習会(9/12)



若松杜の里秋祭り(9/15)



民有地草刈り(9/22)



ホテル育成・観察(9/30～11/22)



チューリップ球根植付(10/27)

支援事業



杜の里小夏祭り(8/3)



杜の里りんぴっく(10/13)



杜の里まつり(10/14)



金沢マラソン花苗配置(10/27)

ふるさと探訪

奥卯辰山健民公園の大池

現在の奥卯辰山健民公園の大池(おいけ)は、昔は地元の人々は若松大池という人がいた。大池は若松地内にあり、鈴見より約350m離れている。大池は夏に天気が続いても水は潤れない。大池の水は、通称一枚田(小池)の方から地下を流れてくると言われている。昭和20年代に大池と一枚田の間のじめじめした所に溝を掘って水をよそへ流したところ、大池の水が減り一枚田の水も減ることが分かり、溝を元に埋め戻すと大池の水が増えてきたと言われている。今はスイレンが一面を覆っているが、昔はジュンサイが生えていて、新芽を採って料理屋に持って行く人がいたそうです。4月は一面に桜が覆い、5月上旬から5月下旬まで黄菖蒲とカキツバタが咲き始め、また、5月中旬から白スイレンが咲き6月下旬が見頃で、9月まで咲いています。1羽の白鳥(コロちゃん)が愛らしく待っています。



☆各種事業お疲れ様です。今号にホテルの話が数件有りました。以前は自宅の周りで見かけましたが、最近は見なくなりました。来年はホテルの見どころマップ等掲載していただけたら嬉しいですね。

☆いつも立派な広報誌を拝見して感じています。特に花壇の管理ときれいな花を咲かせて、地域の皆さんはどんなに心癒されていることでしょうか。とても羨ましいです。

☆今回、紹介のホテルの話、家の前では乱舞、後、1か月は楽しめます。

☆橋シリーズは面白いです。生活に直結する水と橋、私財を投じて橋をかけた当時の方の思いを大事にしたいですね。

☆クロスワードパズルは、頭の体操になります。かたくなった頭を柔らかくするのに調度良いです。文字数が多ければ多い程やる気が出ます。

☆通常総会の記事が興味深かったです。約120名の方が会員さんなんですね。街を愛する方が大勢で頑張っているから、街並みが美しく保たれているのです。橋の話はびびりました。総会だけでなく金沢杜の里主催で、亀田氏の市民講座、講演会開いてほしいです。

☆金沢市内に住む孫たちはもりの里もりの里と言つて、よく遊びに来てくれます。一緒に散歩していても、今の時期こんもりとしたベゴニアが暑さにも負けずに迎えてくれます。いつもありがとうございます。

☆今月号はとっても楽しく読ませていただきました。パズルも一気にとけました。年寄の頭の回転を元気づけてもらいありがとうございます。

☆クロスワードで脳トレを楽しんでいます。とてもありがたいです。

☆私共、住居はもりの里ではありませんが、山側道路はよく通ります。季節の花の手入れも良く、会員の一人として喜んでいきます。いつもの事ですが、探訪シリーズは興味深いです。その場所を訪ねるのが楽しみです。

☆今年度も後半に入り、NPO金沢杜の里さんが世話をしておられる、百合の木坂、鈴懸坂、もりの里一丁目交差点、楡の木坂にベゴニアの花が見事に咲き、プランターの箱からこぼれそうになっています。これは暑い中での水やり、除草等の手入れ、花にかけける愛情と思つています。日々のご努力に感謝しています。

☆街並みの花々を見るたびに、地域活動の皆様を思い頭が下がります。いつもありがとうございます。

☆NPOの皆様は、地域の人々のために頑張っていると思います。顔をあわせて、あいさつできる近所の人、困った時に助け合える関係が、住みやすい町を作っていると思います。

☆いつも「わが町探訪シリーズ」を楽しみに読んでいます。今回は、昔の一本橋が丸太だったということで、『とても怖かった』というお話が印象的でした。令和も活動頑張ってください。

☆ようやく長い梅雨も明け、本格的な暑い夏がやってきました。歩道のピンクのサルスベリとお手入れされている紅白のベゴニアの花々が癒やされます。

わが町・探訪シリーズ14 田上大橋と連絡橋

山側環状に架かる「田上大橋」は長さ67m、中間幅が約37mで、欄干に「平成13年11月」とあります。全線開通が平成18年4月15日であることから、約4年半は錦町連絡橋・涌波トンネル（上段）、本線連絡橋・崎浦涌波トンネル（下段）を造るための橋だったことが分かります。平成6年5月のジャスコ（現イオン）のオープンにあわせて山側環状は鈴見橋から若松町の端まで開通しますが、この年によりやく田上町・田上本町土地区画整理組合が設立され、起工式は平成11年1月でした。平成14年7月にカーマが開店し、山側環状の一部は開通しますが、それでも田上と若松を結ぶ旧道は狭く、地域住民には待ちに待った全線開通でした。

全線開通して間もなく、長坂台小学校6年生が田上大橋を渡り遠足（卯辰山）に行くのを見て驚きましたが、田上小学校の2年生の遠足も大桑の犀川緑地でした。涌波への上段の「涌波トンネル」（179m）の高架連絡橋（198m）には歩道がありますが、下段の本線（崎浦涌波トンネル）（663m）の連絡橋には歩道はなく、歩行者は錦町の梨畑に一旦下りることになります。「田上大橋」は田上本町に架かる橋ですが、現在の地図には兩岸の橋台の半分が錦町となっています。これは、浅野川左岸から小立野台地（崖下約80m）の手前まで、戸室山に似た形の川向い（田上本町地内・3万坪）という小字があり、田上本町が耕地整理（昭和31年）を行ったあと、田んぼの形に合わせて階段状に町境を定めたためでした。

一方、錦町は小立野台地を山裾として、大門山（通称加賀富士）に似た形をしています。その頂上部分は浅野川を約50m超えており、北側は田上町、頂上と南側の稜線は田上本町で、頂上（南北に約50m、東側はゲンキー田上店）はほぼ平らでした。山側環状はその平らな部分から涌波崎浦トンネルの手前（約80m）まで、錦町との境界の田上本町側に造られています。

現在の錦町集落は小立野台の警察学校の南側にありますが、錦町の古老によると、『実は、「崎浦涌波トンネル」の下辺りに牛首（錦町）集落があった。約200年前（寛政地震か）に崖崩れが

あり、集落の一部が下敷きとなり死者もでた。そこで藩に申し出て小立野台に移転した。最初に神社が移され、小立野に上る坂を「宮の坂」というようになった。』とのことでした。

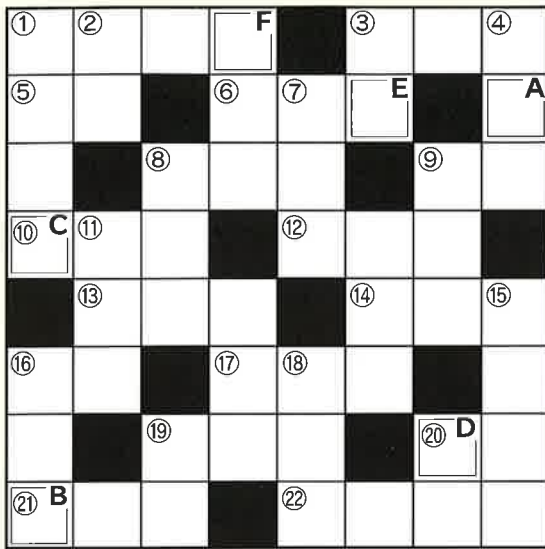
先の頂上部分の隣（ゲンキーの建物と南側駐車場と山側環状を含む）から、室町時代に放棄された古墳時代～奈良時代・鎌倉時代の「田上本町遺跡・集落跡」が発見されています。田上本町（上田上）は昔から「馬場・ばんば」と呼ばれていますが、金浦用水の上段（馬場公園の上）が「殿村」で、金浦用水の下段の集落が「馬場」です。「馬場」の由来は、室町時代の始めに津幡の能勢殿に住む貴族の富樫誠白が殿村に曹洞宗宝蔵寺を建て、主従の馬が「馬場」に置かれていたことによるものです。富樫誠白は1352年（文和元）、主従17騎ともに出羽国（秋田県）に移り、その2年後の1354年に宝蔵寺の建物は解体されており、この時期に「田上本町遺跡」は放棄され、馬場・殿村に移住したと思われます。

田上本町（上田上）は国司が統治する国衙領であり、宮内省の「大炊寮領＝殿上米料所」であったことから、田上郷に含まれていた牛首村（錦町）は、鈴見・若松・角間・田上の住民と共に、朝廷に貢献する産物を生産していた可能性は高いといえます。「田上大橋」と「錦町連絡橋」は、先人の集落を結びつけた「奇跡の架け橋」ではないだろうか。

郷土歴史研究家 亀田輝之



クロスワードパズル



答

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

 公園

(ヒント)浅野川添いでイオン近くの公園

応募方法

- ◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、11月30日までに、次の所へお送りください。
- 〒920-1165 金沢市若松町3-281
- NPO金沢杜の里情報公開委員会係

→ ヨコのカギ

- ① 全体が灰色に見える色彩の鳥
- ③ 向い合って話すこと
- ⑤ 目だたないこと
- ⑥ 北海道阿寒湖などにある植物
- ⑧ まだできあがらないこと
- ⑨ 良いめぐり合わせ
- ⑩ 海水浴等で使うもの
- ⑫ 金を主な成分として作ったお金
- ⑬ 水を汲んだりする道具
- ⑭ 水
- ⑯ 常緑針葉樹で材は庭木、盆栽等に用いる
- ⑰ 海に住む哺乳動物
- ⑱ お金を入れておく鉄製のもの
- ⑳ ○○自慢で合格
- ㉑ 秤の分銅等で鉛のもの
- ㉒ 名古屋名物のお菓子

↓ タテのカギ

- ① 悲しんだり喜んだりする感情を持たないこと
- ② 読んだ意味や内容を理解する
- ③ 勝負ごとなど簡単に負けるような人
- ④ ブドウ酒
- ⑦ その場に応じること
- ⑧ 見て分別すること
- ⑨ 遠まわりすること
- ⑫ 思いもかけないほど変わっていること
- ⑬ 家に飲み水を送る設備
- ⑭ 中華人民共和国の特別行政区のひとつ
- ⑰ 一つひとつまとまりにした事から
- ⑱ 板等に穴をあける道具
- ⑳ ○○ウイルス

街づくり 調査・研究視察

当法人の事業活動の調査・研究事業の一環として、平成29年第28回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞の福井県「美山を美しくする会」の活動状況を10月19日視察してきました。

活動状況は、福井県と岐阜県を結ぶ主要幹線道路(国道158号線)の福井市市波町から小和清水町の6箇所に季節の花を配置し、この管理、除草、清掃等を会員15名が、花の種まき、ポット上げ、花定着、草刈り、花壇の維持管理を行い、また、平成28年度から地元の小・中学校の児童、生徒の親御さんの協力で花植え時には100名を超える人が活動し、地域の景観づくりを目指しておりました。当法人はこの活動を参考に、東部地域が緑豊かで潤いのある住みよい街づくり活動を続けていきます。



問合せQ&A

Q. 若松八幡さん公園がエンピツ公園と呼ばれている言われを教えてください。

A. 平成7年頃に「若松・鈴見土地区画整理事業」で、若松八幡さん公園に滑り台、ジャングルジム等の遊具類が設置されました。この遊具類の上部がエンピツの芯をまねていたことから、子ども達から「エンピツ公園」と呼ばれていました。経年から施設の腐食等及び他所の施設で遊具類の事故が生じたため、危険防止の観点から金沢市が平成27年頃に撤去し、現在の遊具になったが子供達の間で今も「エンピツ公園」として親しまれています。

Q. 最近、もりの里地域内のセットバックの植栽が、道路にはみだしてあり、通行に支障があります。どなたが管理されるのですか。

A. セットバックの植栽は、区画整理事業で行ったものでありますが、組合解散後は、地権者で管理をするようお願いしているところです。

元号も令和に変わり、猛暑の夏も過ぎ、日に日に秋が深まりました。今年度も主体事業である「花いっぱい運動」は沿道脇に四季折々の花を彩り、緑豊かな自然環境と景観を保全し、緑と花の溢れる街づくり活動を会員一同、地域の皆さまに喜んでいただけることを目指し、一生懸命努めて参りました。感謝します。

皆さまの暖かいご意見、感想等が緑豊かな街づくりの励みになります。お便りをお待ちしております。

(編集後記)